

## 平成 29 年度学長戦略経費（重点分野研究プロジェクト）進捗状況報告

（平成 30 年 3 月）

報告者氏名・所属	宮前耕史・釧路校	
研究プロジェクトの名称	「食育」実践力向上のための「酪農家民泊体験実習」プログラムの開発	
プロジェクト担当者 (氏名・所属・職) ※代表者に●を付すこと	内山 隆・釧路校・准教授（教育実習委員会委員長） ●宮前 耕史・釧路校・准教授 半澤 礼之・釧路校・准教授 平岡 俊一・釧路校・准教授 野村 卓・釧路校・准教授	
研究プロジェクトの概要等		
<p>第一次産業とりわけ酪農を基幹産業とする北海道東部の地域特性を生かし、食糧生産基地・北海道に所在する唯一の教員養成大学として、酪農家宅での作業体験・生活体験を軸とする「食育」実践力向上のための「酪農家民泊体験実習」プログラムを開発する。本プロジェクトは、釧路校教育実習委員会と、道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人・企業等、関係機関・団体との連携・協働により、プログラム開発を行う。</p>		
進捗度	1	← 番号を記入 1. 順調に進んでいる 2. ほぼ順調に進んでいる 3. やや遅れ気味 4. 遅れ気味
<p>(進捗度が 3 若しくは 4 の場合、問題点等の理由を記入願います。)          予定していた内容を、順調に実施しているから。</p>		
研究実績の概要		
<p>道東を中心とする道内の酪農家、自治体や教育委員会・農協・NPO法人や企業等、関係機関・団体と連携し、「酪農家民泊体験実習」を軸とする「食育」実践力向上のためのプログラム開発を行った。2 年目となる本年度には、1 年目となる平成 28 年度に実施した試行プログラムに改善を加えた改善プログラムを実施すると同時に、その成果と反省を踏まえ、3 年目となる平成 30 年度におけるプログラムの完成を目指し資料収集と研究打合せを行った。</p> <p>プログラム改善にあたっては、プログラム参加学生の事前・事後の意識変容を明らかにするため、アンケートによる定量的調査を行うと同時に、コンセプトマップおよびインタビューによる定性的調査を実施した。</p> <p>具体的な実施日程は下記の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 月 7 日（金）受講案内（教育フィールド研究および教育実習ガイダンス）</li> <li>・ 4 月 10 日（月）参加受付会①</li> <li>・ 4 月 14 日（金）参加受付会②</li> <li>・ 4 月 21 日（金）抽選会</li> <li>・ 5 月 15 日（月）事前ガイダンス①</li> <li>・ 5 月 15 日（月）研究打合せ（北海道教育大学釧路校）</li> <li>・ 5 月 17 日（水）事前ガイダンス②</li> <li>・ 5 月 26 日（金）～ 28 日（日）酪農家民泊体験実習</li> <li>・ 9 月 9 日（土）資料収集および研究打合せ（別海町東公民館）</li> <li>・ 9 月 27 日（水）～ 28 日（木）資料収集（北海道大学および J R 札幌駅）</li> <li>・ 10 月 13 日（金）～ 16 日（月）資料収集および研究打合せ（刈谷市総合文化センター）</li> <li>・ 12 月 14 日（木）研究打合せ（北海道教育大学釧路校）</li> <li>・ 2 月 10 日（土）～ 11 日（日）研究打合せ（筑波大学）</li> </ul>		

<p>・ 3月2日（金）研究打合せ（北海道教育大学釧路校）</p>	
<p>今後の研究プロジェクトの推進計画</p>	
<p>1年目（平成28年度）、2年目（平成29年度）には、試行プログラムを実施して、そこから得た知見（成果と反省）に基づき改善プログラムを作成、実施した。研究最終年度となる平成30年度には、さらなる改善を加えたプログラムを実施すると同時にプログラムを完成させ、教師教育学会・日本教育大学協会研究集会等、関連学会や研究会等で報告・成果発表を行う。</p>	
<p>教育現場や地域で活用可能な成果等</p>	
<p>「食育」「食農教育」「地域理解」等の関連分野で、「食育」指導力の習得や向上、「地域理解」や「地域学習」等のために、教師を目指す学生および現職教員が研修等を行う際に利用可能である。</p>	
<p>研究成果の公表実績</p>	
<p>【著書】 特になし</p>	
<p>【学術論文】（投稿中も含む） 特になし</p>	
<p>【学会発表、シンポジウム、セミナー、演奏会、展覧会、競技会、普及啓発イベント等】 ・半澤礼之2017「『酪農家民泊体験実習』プログラムによる大学生の学びと成長」日本教育心理学会第58回総会シンポジウム「地域の問題に立ち向かう教育心理学」（サンポートホテル高松・かがわ国際会議場）</p>	
<p>【テキスト、報告書、研修資料等】 『教育フィールド研究Ⅶ（酪農家民泊体験実習）2017』パンフレット（作成中）（作成したパンフレットは本学HP（特色ある取り組み「酪農家民泊体験実習」）に掲載する。</p>	
<p>添付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教育フィールド研究Ⅷ」（酪農家民泊体験実習）ポスター</li> <li>・『釧路新聞』平成28年5月27日（土）記事</li> <li>・『北海道新聞』平成28年5月27日（土）記事</li> <li>・『教育フィールド研究Ⅶ（酪農家民泊体験実習）2017』パンフレット（作成中）</li> </ul>
<p>ダウンロード可能なドキュメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『教育フィールド研究Ⅶ（酪農家民泊体験実習）』（2017）パンフレット（作成中）を本学HP（特色ある取り組み「酪農家民泊体験実習」）に掲載予定。</li> </ul>
<p>関連URL</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/distinctive/research/project/rakunou.html">http://www.hokkyodai.ac.jp/distinctive/research/project/rakunou.html</a></li> <li>・ <a href="http://www.hokkyodai.ac.jp/info_topics/kus/detail/5050.html">http://www.hokkyodai.ac.jp/info_topics/kus/detail/5050.html</a></li> <li>・ <a href="https://www.facebook.com/hokkyodai/?hc_ref=ARSFfPIHJKb2QJicCHB3uejNKdTrW7rFpxk-PzPSX94p2gy24pLQswqwkxCULAc3Bo">https://www.facebook.com/hokkyodai/?hc_ref=ARSFfPIHJKb2QJicCHB3uejNKdTrW7rFpxk-PzPSX94p2gy24pLQswqwkxCULAc3Bo</a></li> </ul>
<p>問い合わせ先</p>	<p>氏 名：宮前耕史 電 話：0154-44-3309 E-mail：miyamae.yasufumi@k.hokkyodai.ac.jp</p>